

遮熱効果を 体感してみませんか

熱反射(遮熱)シート工法と既設屋根()との温度差比較
スレート、折板、瓦棒



実験装置で、既設の屋根(スレート)と、熱反射(遮熱)シート工法の屋根との温度差を体験できます。

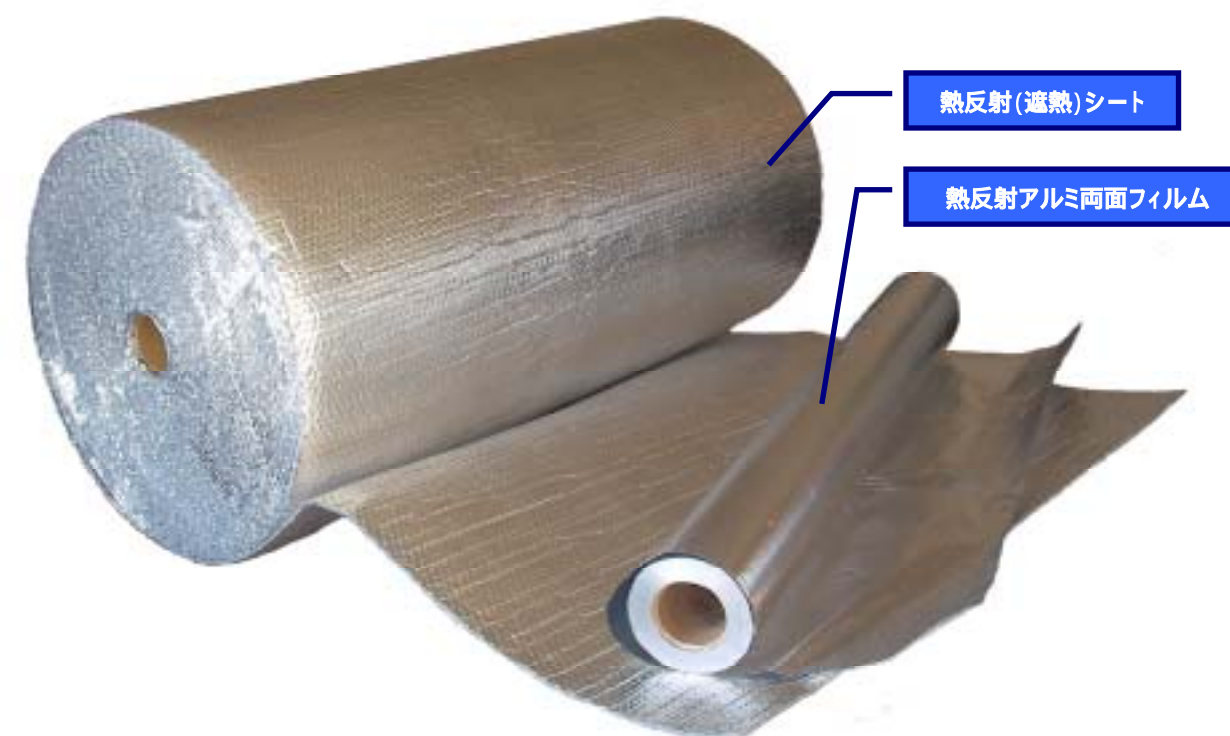
実験例

比較対象:スレート

実験条件:15分、スレート表面温度60

実験装置をお持ち致します。気軽にお試しください。

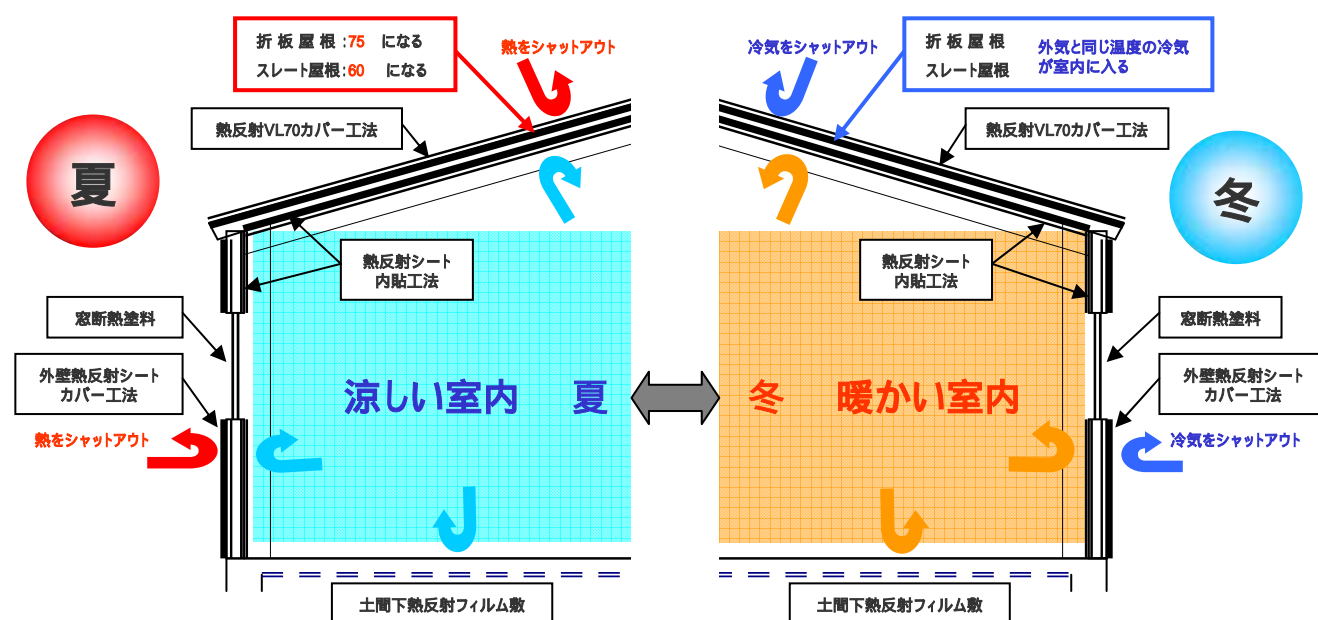
熱反射(遮熱)シート



熱反射(遮熱)シート

熱反射アルミ両面フィルム

改善された建物の夏と冬



夏涼しく冬暖かい省エネの建物へ
~工場等建物全体のトータルエネルギー診断を致します~



呉本店
広島本店
東京支店
大阪支店

広島県呉市中央1丁目6番28号
広島県広島市中区鶴見町4番25号(増栄ビル)
東京都千代田区鍛冶町1丁目5番7号(江原ビル)
大阪府大阪市中央区北浜3丁目2番23号(信愛ビル)

〒737-0051 電話(0823)21-1441
〒730-0045 電話(082)504-5050
〒101-0044 電話(03)5294-8580
〒541-0041 電話(06)6202-3264

遮熱の決め手は熱反射率です。

熱反射(遮熱)シート、熱反射アルミ両面フィルムにより、
建物環境改善がローコストで実現します。

MASUOKA
Architectural Contractors Inc.



宇宙服・耐火消防服から生まれた超薄型高熱反射(遮熱)材 外気熱を97%反射(カット)した省エネルギー建物が可能

薄型高遮熱(高断熱)の熱反射(遮熱)シート

熱反射(遮熱)シートは当初、超高熱環境で使用する宇宙船及び宇宙服の反射絶縁材料として宇宙産業で開発されました。

高い絶縁性能は、放射熱の移行を阻止する隔壁や、空気及び蒸気等の安全な隔壁になります。

その構造は、2枚の多孔質シート(バブルパック)が、ポリエチレンフィルムの上に積層され、それに加えてアルミを被覆したポリエチレンをバブルパックの外側に重ねたものです。この高い遮断性能をもつ熱反射(遮熱)シートは、暑さ寒さを快適に過ごすことに寄与した環境に優しい材料です。しかも、エネルギー及び経費の節約に大きく貢献します。

省エネルギー・作業環境改善

夏:15 涼しい作業環境に!

冷房初期設備費用が50%の省エネ建物に!

冬:10 暖かい作業環境に!

暖房初期設備費用が70%の省エネ建物に!

暖冷房ランニングコスト(最大電気料契約共)

60%~65%の省エネ可

既設建物の省エネ可

夏:30%の省エネ建物に!

冬:70%の省エネ建物に!

機械熱の封じ込め 70%~

配管熱の封じ込め 70%~

数値は当社比

国土交通省不燃材料認定品

耐圧40t/m² 強度は半永久的に変わらない
熱反射(遮熱)シートは100年後でも劣化が無い

省エネルギー法に対応
ISO14000に貢献

熱移動の3原則

<熱は「輻射・対流・伝導」により移動する>

「輻射」で伝わる熱エネルギー

「対流・伝導」で伝わる熱エネルギー

・熱反射シートで対応
(断熱材では対応できない)

・熱反射シート+静止空気層で対応
(断熱材で対応可能)



全体の70%~50%



全体の30%~50%

高反射率97%: 輻射熱を97%反射している手で触っても熱ありません

素材	熱反射率
銀	99%
金	98%
熱反射(遮熱)シート	97%
アルミ蒸着品	36~60%
レンガ	7%
ガラス	5%
スレート	8~10%
木	2~10%
タイル	5~15%

屋根の塗装替えをお考えの方へ

屋根熱反射カバー工法

既設屋根の上に熱反射シートをくみこんだ新しい屋根を乗せる工法です。カバー工法により、15~20年間メンテナンスが不要となります。折板葺・瓦棒葺・スレート葺屋根は、熱反射VL75カバー工法で改修します。



外壁のリニューアルをお考えの方へ

熱反射シート外貼工法

古い外壁の上に新しい熱反射シート外壁を施工する改修工法です。外壁は「熱反射(遮熱)シート貼+下地+外壁材」で改修します。



内装のリニューアルをお考えの方へ

熱反射シート内貼工法

建物の中に熱反射シート貼りを行う改修工法です。内壁・天井は「下地+熱反射(遮熱)シート貼」で改修します。



採用実績例

